

## 令和6年度 松田町総合計画審議会 〈第1回〉 議事要旨

日 時：令和6年6月25日（火） 13時30分から15時45分まで

場 所：松田町役場4階 大会議室

出席者：14名（名簿順）

山岸委員、山崎委員、飯田委員、竹内委員、陶山委員、渋谷委員、鈴木委員、小澤委員、大槻委員、古舘委員、吉川委員、古川委員、太田委員、足立委員  
町：田代副町長、野崎教育長、鈴木参事兼政策推進課長兼定住少子化担当室長、早野参事兼総務課長、石井参事兼議会事務局長、鎌田安全防災担当室長、山岸税務課長、堀谷町民課長、宮根福祉課長、渋谷子育て健康課長、遠藤観光経済課長、柳澤まちづくり課長兼駅周辺事業推進担当室長、渋谷環境上下水道課長、椎野教育課長、

事務局：政策推進課（鍵和田、鎌田、松田）

### 次第

1. 委嘱状交付
2. 副町長あいさつ
3. 自己紹介
4. 会長選出・あいさつ  
会長：古舘委員
5. 副会長・議事録署名人（2名）の選出  
副会長：鈴木委員  
議事録署名人：山岸委員、山崎委員
6. 議事
  - （1）松田町第6次総合計画における令和5年度事業進捗状況及び令和6年度事業方針等について
  - （2）その他
7. 閉会

### 資料

資料1：松田町第6次総合計画に係る取組の進捗状況と評価

資料2：松田町第6次総合計画事業進捗評価シート（施策大綱ごと（1～6））

資料3：各評価に係る推進方法確認シート（評価ごと（1～2））

資料4：まちづくりアクションプログラム目標指標達成状況シート

## 質疑記録

議事（1）松田町第6次総合計画における令和5年度事業進捗状況及び令和6年度事業方針等について

### ■ 1. 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち【健康・福祉】

鈴木副会長：

待機児童がいるとのことだが、現状どうなのか。

子育て健康課長：

今年度、待機児童は1歳児が3名、1歳児の入園する数が上限に達している。保育園とも調整はさせていただいているが、入れないのが現状である。入園できない方については、何か他の方法含め模索、相談しているところ。

吉川委員：（回答補足）

保育園では認定基準（部屋の広さ、職員の配置など）が決められている。他の年齢は問題ないが、1歳児のみ入れない状況である。なるべく入れるように努力はしているが、保育士の確保含め難しい現状である。

古川委員：

寄診療所について、子ども（2歳児）の薬がないからと診療していただけない。また、子どものインフルエンザ・コロナウイルスの検査をしてもらえたら安心である。

町民課長：

薬剤の関係など専門的な話のため、今ここで、できるとは言えないが診療所の先生と調整する。

副町長：（回答補足）

昨年より、発熱外来を診療所で行なっている（曜日により、専門の先生も違うが）。皆さまの利用しやすい形で運営できればと思う。

太田委員：

高齢の方、児童の方のケアは良くされていると思う。ただ、精神的に病んでいる方に対し、町の対応はどうしているかお聞きしたい。また、通院している方だが精神が不安定で近所の方に迷惑をかけている方がいるので、コミュニティを作るとか、町と

して何かいい方法を考えていただきたい。

福祉課長：

基本的には、役場の福祉課にご相談いただき、その後病院に受診いただき、状況に応じたサービスにつなげていくというような形を取っている。

2点目については、今すぐに示せる手段はないが、関係機関に相談し、検討する。

古川委員：

子育て支援センターは未就学児までの利用しかできず、例えば夏休みとかの長期休暇に7歳8歳などの子ども（未就学児の兄など）も一緒に連れて行けたら、利用がしやすくなるので、検討いただきたい。

子育て健康課長：

子育て支援センターは、未就学児の安全のため条例上は未就学児、乳幼児に限定している。

利用しやすい環境の構築のため、今後どうしたらいいかは町でも検討している。小学生以上については、例えば近くの施設の利用促進なども含めて多方面で検討している。

竹内委員：

県立足柄上病院は、紹介状がないと初診料が取られる。また、初診について、完全紹介制の診療科もある。年配の方は、直接来院しても診療いただける体制等取っていただけないか。

子育て健康課長：

町から足柄上病院の地域医療支援事業運営委員会の際に、要望があった旨をお話しさせていただく。

大槻委員：

中学校の制服の値上げについて、従来価格より来年が12パーセント（約8,000円）値上げになる。再来年は、素材等検討し、従来価格と同額程度になるとのこと。年代で差が出てしまうので、何か対策はないか。

教育課長：

教育部局では一定以下の所得世帯については、要保護及び準要保護児童生徒就学援助費というものを支給している。所得が一定以上ある方については、特に補助制度というようなものはない。

現状、令和6年度で対応できる補助制度は準備してないが、制服は中学校で決めて

いるので、何か改善できることがないか（業者選定や同デザインでより安くなど）、町の方でも調べた上で、検討していく。

## ■ 2. 質の高い学びで次代の担い手と文化を育むまち【教育・文化】

吉川委員：（意見）

町・幼稚園・小学校・中学校などと連携し、お互いに情報を共有し、安心できる体制づくりができています。先日、町で推進している英語教育について、保育園でも実施したく（保護者の要望）、町へ相談したところ早急に対応いただき、6月から保育園でも実施しています。ありがとうございます。

吉川委員：

松田中学校の警備員はどうなっているのか。（毎朝、校長先生が、立っている）

教育課長：

松田中学校の警備員については、令和5年度から、置いていない状況である。理由としては、松田中学校はオープンな環境になっており、誰でも自由に出入りできるという稀有な環境、周りにフェンスがない（他中学校では、周りをフェンスが囲っている）というところで警備員を置いていたというような背景がある。令和6年度に、グラウンドの脇、南側の方により防犯効果の高いと考えられるフェンスを、設置する予定でいる。

鈴木副会長：

犯罪が多い世の中であるので、防犯カメラを増やしてほしい。

安全防災担当室長：

令和6年度の予算で新設、交換含め4台分の予算をつけている。また今後も状況を見つつ増やしていく予定である。

陶山委員：（情報提供）

防犯カメラ・防犯の関係で、隣接している町で、町と飲料会社と警察の協同で、自動販売機全てに防犯カメラを設置しようというプロジェクトがある。自動販売機は、手元だけ見えるカメラが搭載されているが、広範囲に見えるようにして防犯カメラの役割も担うという画期的なアイデアだと思うので、ぜひ、お話しがあれば前向きに検討いただきたい。

古舘会長：

コミュニティスクールについて、ポイントになるコミュニティスクールコーディネーターの人選はどういう風に進めるのか、わかる範囲で教えていただきたい。

教育課長：

令和7年度導入予定で現在準備を進めているところ。文部科学省の方もCS（コミュニティスクール）コーディネーターが、コミュニティスクールの成功の鍵になると言っており、その方のお言葉を借りて言うと「公募で選ぶというのはなかなかリスクがある。要は、やりたがりの方を選ぶと、意見がまとまらないなどの問題が全国で散見されている」とのアドバイスも受け、松田町では「学校長の推薦」というところで今回要綱を制定させていただき、実施予定である。9月いっぱいまでに推薦いただき、導入説明会を8月と11月に開催予定で進めている。

小澤委員：

部活動の段階的な地域移行ということで、運営方針や具体的に何を決まったのかが知りたい。無い部活（野球部）は、どうなるのか。

教育課長：

部活動の地域移行の会議を実施し、町にある総合型地域スポーツクラブの方に委託をしてやっていくという方針だけは決まっている。ただし、そもそも部活動がないものは、地域移行の対象に入っていないので、近隣のクラブチームなどに所属してもらうことになる。（新たに部活を新設するものではない）現在あるのは、運動部でいうとサッカー部、ソフトテニス部、卓球部、陸上部である。

### ■ 3. 賑わいと雇用を生み出し、働きがい育むまち【経済・産業】

陶山委員：

年間を通して、新たに人が流れてくるような観光イベントなど、何か計画をされているか、もしくは観光地化するための新しい取組みなどがあればお聞きしたい。

観光経済課長：

町の大きなイベントとしては2ヶ月に1回ぐらいあり、若葉まつり、観光まつり、あしがら花火大会、産業観光まつり、西平畑公園でのイベントにてキラキラフェスタ、桜まつり、及び寄ロウバイまつりといった大きなイベントがあるため、現状では新たなイベントの計画はありません。

その他、新たな計画としては、スポーツツーリズム（スポーツ資源と旅行・観光ツ

ーリズムを融合する取り組み)を推進する手段の一つとして、みやま運動広場の整備、その他のスポーツ設備の改修などの取組みをこれから進めていく。

渋谷委員：

寄をもっと活性化していけたらと、考えている。ハイカーの方、バーベキューの方や、キャンプに来られる方など結構いる。寄自然休養村管理センターには、案内場があるが、もう少し診療所の方などにも観光案内所的なものができたらと考えている。松田地区としては、開発するような土地はあまりなく、西平畑公園くらいなので、これからはもっと寄地区に目を向けた方がいいと考える。

観光経済課長：

さらなる観光推進ができるよう、町と町観光協会、町商工振興会、町飲食店組合など関係団体との連携を密とし、協議して参りたい。

太田委員：

指定管理者が入って初めての桜まつりだったと思うが、商店街との連携がうまくいってなかった。また、まつりの経路は、1つの道に偏ることのないようにしていただきたい。

観光経済課長：

会場までの経路を多数設けると、逆に来られる方が、分かりにくいものとなってしまうとも思われる。いただいたご意見は、来年に向けて、実行委員会で報告し、協議させていただく。より良いお祭りにしていくため、今後ともご協力いただきたい。

#### ■ 4. 持続的に発展し、豊かな暮らしを育むまち【暮らし・基盤】

足立委員：

空き家の問い合わせについてどのくらいあったのか、どのくらいの空き家のマッチングを成立したのか聞きたい。

定住少子化担当室長：

松田町では、移住相談所を令和3年度に設け、不動産関係者や移住者の方等にも入っていただき、様々な問い合わせに対し、対応を進めております。令和5年度については、空き家の活用で結び付いたのは7件であり(空き家等ということで、そこには民間の賃貸の空いてる物件も含む)。空き家の改修や解体の補助制度を進めながら、今後も多くの方に利活用いただけるような方向性で進めている。

古舘会長：

新松田駅北口周辺整備という大きなテーマについて、現状の説明を簡単に聞きたい。

まちづくり課長：

基本構想、基本計画に基づいた再開発事業として推進している。地権者の合意を得ながら、土地の高度利用化を図り、「駅前広場の安全」や、「スーパーの誘致」の実現に向けて取り組んでいる。

現在は、再開発の準備組合にて議論を重ねているところ。7月11日（木）には住民の説明会も設けているので、ぜひ、ご参加いただきたい。

飯田委員：

寄中学校の利活用について、現行の進捗状況を聞きたい。

総務課：

今現在、旧寄中学校につきましては、一次産業をテーマとした農業アカデミーを開催、人材の育成や特産品の開発などを行っていくという形で、事業所から報告を受けている。事業者にも、なるべく早い時期に地元説明会の開催をするよう町としても動いている。

## ■ 5. 自然と共生し、安全・安心な環境を育むまち【自然・環境】

吉川委員：

災害情報など、早急に情報共有していただきたい。

安全防災担当室長：

町に入ってきた情報については、基本的には防災行政無線で鳴らしている。園・学校、町民の方に情報の伝達が遅れないように、今後も情報共有させていただく。

竹内委員：

今年の夏は、厳しい暑さであり、町内には、クーリングシェルターなど設置されているか、また増設等は考えているか。

安全防災担当室長：

健康福祉センターと生涯学習センターの2カ所を開放中のところ。今後も周知に努め、増設についても検討していく。

太田委員：（追加意見）

商店街でシールを貼り連携している町もある。

安全防災担当室長：

商店街などとの連携含め、今後検討していく。

## ■ 6. みんなで協力し、みんなの力を育むまち【実現手段】

山崎委員：

集会施設については、避難所としては設定しているが、耐震診断がないと避難所として使えないということでしょうか。

安全防災担当室長：

そのとおりである。大きい避難施設に行き、その後、町が安全（耐震性）を確認してそれぞれの避難所に入ってもらおう流れとなる。

鈴木副会長：

東名高速道路の高架下の旧神山児童館は一度壊すと、もう二度と使わせてもらえないので、きれいに使用していただきたい。

総務課長：

使い方のルール、置き方等について見直す。半分は神山の地元の方が使っているので、支障のないような形で的確に処理させていただきたく。

山岸委員：

集会施設はたくさんあるが、児童館的な役割を持つ施設がなく、子どもが遊びに行ける場所がない。これから夏になって外で遊べない時（気温が30度以上になると外では遊ばないようにと学校で指導あり）遊べる施設があるとよい。

副町長：

クーリングシェルターという言い方がいいかわからないが、地域集会施設は地元の方の施設である。そういったところを前向きに、利用できるように、町だけではなく自治会長さん含め相談させていただき、利用できるように検討させていただく。

閉会